

S^{YN}APIS ニュース

社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

No.54 2020. 11

今月のテーマ：平和を脅かす
排他的経済構造



いただきます

カトリック大阪大司教区 社会活動センター

シナピス



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、
やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

TEL 06-6942-1784 FAX 06-6920-2203 E-mail sinapis@osaka.catholic.jp

「カトリック」を表す言葉は多々あるが、私が大切にしているのは、「食卓の宗教」ということである。個人的に食べることが好きなこともあるが、誰と何を食べるかということ、聖書は何度も語っている。また、私たちが最も大切にしている「ミサ」は、主とともに一つの食卓を囲んでいるからだ。

しかしながら、私たちは時に、今食しているものの「後ろ」を忘れてしまいがちである。一粒のお米には、八十八の手間がかかっていると言われていたが、実際に私たちが興味を持っているのは、「価格」と「味」による個人の満足をいかに満たすかという点である。また、「いただきます」と言って、実際に食しているのは「情報」であり、命をいただいていることを忘れてしまっているようだ。

以前に「ハンガーバンケット」についての記事を読んだことがある。「ハンガーバンケット」とは、一つのワークショップであり、世界の人々の経済状況の割合に応じて、高所得・中所得・低所得にくじ引きで分けられた参加者は、同じ空間で、それぞれの所得に応じた食事の量や質、食事の方法の違いを通して、世界の食事の格差を疑似体験することである。当たり前のように食べている食事は、世界では全く当たり前でなく、すぐ横で食事求めている人を見ながら、食べられない食事をしてしまっている。私たちは、果たして、これで本当に「一つの食卓」を囲んでいると言えるだろうか。「食卓を囲む」とは、単にともに食事をするだけでなく、命について考え、命をいただき、命を与え合う場を共にすることである。

食卓に出されるものには、育て、生きた証である命が示されている。単なる成分表やブランド名のような「情報」では語りつくせない、多くの証がある。私たちは、本当にそのことを理解しているのか、今一度考えたい。「いただきます」という言葉と共に、キリスト者としての日々を見つめ直したい。

今月のページ

■ ニュースレター 目次 ■

- 1 巻頭言
- 2 シナピスの風
- 3 子どもたちに伝えたい平和
- 4 種がえらいこっちゃ
- 5 時報 11 月号より
- 7 教えてください～！！第八弾！
- 9 みんなの掲示板
- 10 ネリさん裁判報告
- 11 沖縄とわたしたち
- 12 憲法がかわったらどうなるの？
- 13 あとがき

■ チラシ・ご案内 ■

- ・シナピスの風（A3 小教区と修道会のみ）
- ・11 月の祈り
- ・「貧しい人のための世界祈願日」教皇メッセージ
- ・忘れないあきらめないカレンダー
- ・日本キリスト教団 京都教区社会セミナー
- ・フィリピン AKAY プロジェクトとともに創る会「講演会のお知らせ」
- ・死刑制度を考える
「犯罪被害者ご遺族を囲んで」



すべてのいのちを守ろう

2021年 正義と平和協議会全国集会 大阪大会テーマ

地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス（からし種）です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って
平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

シナピスの風

第132号 2020年11月1日発行

11月の祈り

排他的な経済構造がもたらす苦しみを心に留めて

「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい」
(マタイ 6・33)

天の父よ、このイエスのことばを心に留めて、
兄弟姉妹と共に人生の道を歩みたいわたしたちを
支えてください。
社会の中で働いているさまざまな力にぶつかっています。
イエスが求めている神の国より
他の目的を中心に置く動きです。
その中で多くの人々は排除されます。
天の父よ、
みことばに導かれて、わたしたちは社会の現状を識別し、
神の国の実現を妨げるさまざまな動きに
立ち向かう知恵と勇気をお与えください。
聖霊に支えられてイエスが示された道を
歩み続けたい決意をお捧げいたします。
なによりも神の国を求めることができますように。
主イエスキリストによって。アーメン。



シナピスでは、毎月のお祈りをニュースレターとともにお送りして
おります。教会で、ご家庭で、日々のお祈りにお使いください。
シナピスのホームページからも、ダウンロードしていただけます。

カトリック大阪教区・部落差別と人権を考える「信徒の会」11月学習会

封印された殉教

「国家による宗教弾圧」と「宗教団体の戦争協力」を考える！

日時：2020年11月21日（土）

13:00～15:00

場所：サクラファミリア2階・聖堂

発題者：野村隆隆さん（信徒の会・阿倍野教会）

特別ゲスト：佐々木宏人さん（著者・荻窪教会）

*参加自由

主催：カトリック大阪教区・部落差別と人権を考える「信徒の会」

連絡先：06-6939-9771（信徒の会）



教皇フランシスコ訪日講話集

すべてのいのちを守るため

私たちに向けられたメッセージの数々

四六版並製 128頁+カラー16頁

定価（本体1100円+税）

教皇来日から来月で1年。いただいた

メッセージをいまいちど味わいませんか。

☆シナピスにあります。

お求めいただいた方にシナピス限定 教皇メダイストラップをプレゼント。

数に限りがあります。お早めに！

すべてのいのちを守るため



今、知りたい死刑のこと

—キリスト者として死刑廃止を考える—

日時：11月23日（月・祝）14:00～16:00

場所：日本キリスト教団室町教会（ZOOMミティングあり）

第一部：お話「すべてのいのちを守るため」

—ローマ・カトリック教会と死刑廃止—

講師：柳川朋毅さん（日本カトリック正義と平和協議会

「死刑廃止を求める部会」イエズス会社会司牧センター）

第二部：分かち合い

主催：日本キリスト教団京都教区「教会と社会」特設委員会

死刑廃止を求める小委員会

連絡先：075-231-3343（浅野）

食糧支援のお願い

コロナ禍で解雇された技能実習生、帰国できずに
困っている留学生、観光客などの相談が増えています。
パスタ、パスタソース、インスタントラーメン、インスタント
スープ、米、缶詰、賞味期限の長いパンなど、日持ち
のする食べ物のご支援をお願いします。

☎06-6942-1784

お電話かQRコードでご連絡ください！



QRコード



シナピス工房 クリスマスカタログできました！ご希望の方はシナピスまでお電話ください。

カトリック大阪大司教区 社会活動センター シナピス

Tel 06-6942-1784 Fax 06-6920-2203

URL: <https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

「点訳版」「音訳」
ご希望の方はシナピスまで
お申込み下さい。

子どもたちに 伝えたい平和



8月14日の京橋と僕のおばあちゃん

シナピス事務局 ビスカルド篤子

「お母さん、大阪環状線の中で唯一地上にある駅ってどこか知ってた？」
息子に聞かれて目を天に向けていると「大阪城公園駅やで」と教えてくれました。日ごろよく利用する環状線は全線ほぼ高架ですが、大阪城公園駅付近だけ地上を走っているのです。息子は「環状線って戦争を思い起こさせる場所がたくさんあるんやね」と言いながら動画も見せてくれました。

なぜ森ノ宮から京橋区間だけ線路を高架から地上に下げたのかというと、そのあたりは戦前、大阪砲兵工廠（のち陸軍造兵廠）のあった場所で、軍時機密を乗客から隠すためだったと動画の解説者は語っていました。そのほか玉造駅の高架橋には、太平洋戦争末期の米軍機の機銃掃射による弾痕がたくさん残っていることも私は初めて知りました。息子は「今でも穴だらけの高架橋をそのまま使っているのが驚き」と言いました。そこから息子の祖母、すなわち私の母の体験に話が進みました。



JR
環状線玉造駅高架橋

1945年の夏、当時女学校の生徒だった母は、京橋そばの造兵廠に動員されていましたが、ある時、母の班だけが枚方の天野川工場に回されたそうです。宝塚の母の家から枚方まで片道二時間半もかかるため、時には宿泊しなければなりません。8月14日も夜勤で天野川に泊まり、翌日の玉音放送は天野川の工場で聴き、茫然自失する大人たちに「もう作業はないから帰りなさい」と言われ、帰路に就きました。

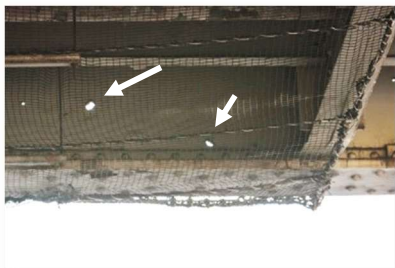
京橋駅は前日空襲を受け、母がいつも作業していた造兵廠も、毎日乗り降りする京橋駅舎も激しく破壊されていました。高架下を見るとたくさんの遺体がトラックで運ばれていました。大勢の人が線路をつたって歩いていました。母も大阪駅まで歩きました。大変な暑さでした。

戦後、母から私たち兄弟が幾度となく聞かされた言葉です。「あの日、たまたま天野川にいたから命拾いした。“たまたま”がなければ、あなたたちはこの世にいなかった。」

息子は私の話を黙って聞いていました。

いま大阪環状線京橋駅の発車時には「ゆかいな牧場」というアメリカ民謡が流れます。

玉造駅高架橋の弾痕

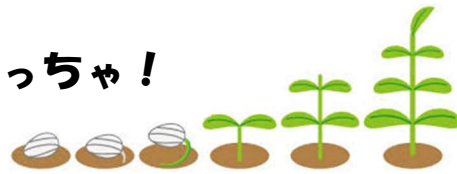


75年を経ても穴だらけのまま使われる玉造駅の高架橋。一方で、敗戦の前日におびた数千人の人が米軍に殺戮された京橋駅の、75年後に流れるアメリカ民謡。

何気ない環状線の話から、死と隣り合わせの時代を思い出した。つながった命と、つながらなかった無念の命。無念の命の重さを抜きに平和は語れないと思ったひとときでした。

*京橋駅高架にも弾痕があり、毎年8月14日には慰霊碑前で空襲犠牲者追悼式が行われています。

種子がえらいこっちゃ！



ニュース9月号、嶽崎裕子さんの「種をまきました…芽が出ない！！」を読まれた読者からお葉書をいただきました。園芸のことは「全くのど素人」だけど、メキシコ産のかぼちゃを料理しようと切っていると、「種がとてもしゃちやりとふくらんでいて、ひょっとして種を蒔いたら芽が出るかなあと気楽な気持ちでまいてみた」ところ、「何と芽が出て、花が咲き、つるもによきによきと伸び、大小合わせて7個」もかぼちゃができ、コロナ禍で憂鬱な日々の中、今年の大ヒットだと喜び、煮物、サラダ、お味噌汁、ケーキといろいろ楽しんでおられるとのことでした。

しかし…

園芸の楽しみと言っていられなくなっているようなんです。

本来、種を蒔くと芽が出、花が咲き、実がなるのは当たり前、

それなのに嶽崎さんの唐辛子は一代限り（F1種）で芽が出ない！

F1種は一斉に発芽、生育し、均一な作物が多量に収穫できるように開発された種。

現在種苗店で売られているのはほとんどこのF1種です。種の世界で何が起きているのでしょうか。

これが園芸の楽しみ。
育てたものを食べるって
幸せですね。

種子法廃止

種子法は戦争の反省にたち、「二度と国民を飢えさせない。責任は国が負う」ために1952年に制定され、良い種子を農家に供給するとともに、遺伝子組み換え作物流入を防ぐ役割を果たしてきました。2018年4月、種子法廃止は施行され、公共のものだった種子は企業のものになって価格が上がり、また遺伝子組み換えの大豆やトウモロコシが輸入されるようになりました。

種苗法改正

種苗法は種の特許法のようなもので、その改正案が今秋の臨時国会で審議される予定です。改正案は種苗を開発した人の知的財産権を保障する一方、農民の「自家増殖の権利」を制限、農家が自分の家で栽培し採取した種を次の年植えることを制限します。その結果、種、苗は種苗店から購入(その多くはF1種)しなければならなくなり、伝統野菜などの種子が駆逐され、遺伝子組み換えも行う巨大多国籍アグリビジネスなどの企業利益が拡大することが懸念されています。



抵抗

コロンビアでは農民の種子の権利を奪う法律に対し、農民が幹線道路を封鎖、交通網がマヒ、政府は法律の施行を凍結しました。

メキシコでは種子の購入を義務付けた法案が、農民の反撃で廃案となりました。



「農は国の基 種子は農の本」

種もみがいかに大事かを表すこんな話があります。

18世紀半ば、享保の大飢饉のとき、必死で働いていた農民の一人が飢えと疲れで倒れた。仲間は彼が保存していた種もみを見つけ、食べるように勧めた。しかし彼は「一粒の種子は翌年には百粒にも千粒にもなる。自分が食べてしまったら来年どうして収穫できようか。自分は死んでも幾百人の命を救うことができれば本望だ」と言い、食べずに亡くなった。

「私は植え、アポロが水を注いだ。でも成長させてくださったのは神様です」

(Iコリント3章6節)

それなのに、この神の業に挑戦し、芽が出ないようにしてしまう科学の発展、人間の業とは何だろう？

イエスにならう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、
その悩みを少しでも分かち合うことのできる、
教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より

貧しい人のための世界祈願日 ねんかんたい (年間第33 主日)について



部落差別人権担当 長崎壮

教皇フランシスコは「いつくしみの特別聖年」(2015年12月8日～2016年11月20日)の閉年にあたり公布された使徒的書簡『あわれみあるかたと、あわれな女』(2017年)の中で、年間第33主日を「貧しい人のための世界祈願日」とするよう定め、わたしたちもキリストに倣い、貧しい人、弱い立場にある人に寄り添い、奉仕するよう呼び掛けました。移住移動者の家族、非情な搾取によって親から引き離された孤児、経済的に困窮している人、社会的な利害関係の犠牲者となっている人や差別されている人たちが貧しい人の代表ですが、このような苦しみの渦中にいる人のために祈るとともに、不平等や不正義のない世界の実現に向けて、私たち自身も具体的なわざを通して神のいつくしみのあかし人となれるよう、その決意を新たに祈り求めるための日です。

おりしもこの祈願日の翌週、年間の暦で最後の主日に当たる「王であるキリストの祭日」に朗読される福音が「わたしの兄弟であるこのもっとも小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」(マタイ25.40)という小さな人への小さな愛の行いに関する問いかけとなっていることは示唆的です。

貧しい人のための祈りと行いは教皇フランシスコが着座以来一貫した訴えであり、その行きつくところは命の尊厳をもう一度考え直すようにとの呼びかけとも言えましょう。

そして今、世界は新たな貧しい人を多く生んでいます。新型コロナウイルスの感染拡大によって雇用機会を失う不安など明日への展望の見えない中に暮らす人々、あるいは親しい人とのつながりを絶たれて孤独のうちにこの危機をじっと耐えているお年寄りたち、コロナに関するあらゆる差別に苦しむ人も貧しい人と言えます。

教皇フランシスコは貧しい人の物的な生活の問題の解決も大切ですが、彼らの一番の渇きは愛に対する渇きであり、人との絆への渇きだと指摘しています。

私たちもご自分を小さい者や貧しい者と等しい者とみなされ、隣人との連帯を生きた主イエスに倣うことができますように。

船員司牧は港町こうべの使命

北須磨教会 平尾享三

「船員司牧活動」をご存じでしょうか？日本に来る外国船の船員のため、ミサやゆるしの秘跡などの司牧を行い、身の回りの必要な品や憩いの場を提供する活動です。

何年か前から神戸地区社会活動委員会では船員司牧を活動の一つの柱として地区ぐるみで取り組んでいる。

神戸地区の船員司牧活動の歴史は長い。明治以来、神戸地区の司牧を担当してこられたパリ外国宣教会の司祭たちが、中山手教会(現神戸中央教会)、下山手教会(廃止)を拠点に、外国船の船員たちのためミサを捧げ、憩いのための場所を提供し、一時は元町に集会所もあったと聞く。

一方、聖公会やプロテスタント諸教会も同様の活動を行っていたので、窓口の一本化と活動の効率化のため、1987年に港に近い神戸市中央区元町通3丁目(中華街の西隣)に3階建ての「神戸マリナーズセンター」を建設し、以来協力して活動を続けてきた。

カトリック側はコーナン神父などパリ外国宣教会の司祭と修道者、信徒の有志などで活動していたが、神戸地区の司牧担当が教区司祭に移るにつれ、中心的な指導者がいなくなり組織的な活動が薄れ、個人的ボランティアの色彩が強くなっていた。

それでも愛徳姉妹会の Sr. 前田や愛徳カルメル会の Sr. 加藤、北須磨教会の赤枝さん(故人)や永井さん、J. デコートさんなどが訪船活動を行い、同教会の中山さん他多くの方々がニット帽を編んで船員さんたちにプレゼントするなど活動は続けられ、神戸地区社会活動委員会にもその活動が報告されていた。

2 年前、神戸東ブロックのエマニュエル・ポポン神父が教区の船員司牧担当となったことを契機に、前出の Sr. 加藤、J. デコートなど訪船活動に関わる方々と神戸地区社会活動委員会のメンバーが打合せを持ち、神戸マリナーズセンターを訪問し、カトリック側の窓口を地区社会活動委員会が担当することになった。

以後、地区社会活動委員会の集まりで各教会の社会活動委員に船員司牧の紹介をしたりして、各教会もクリスマス献金の一部をマリナーズセンターに寄付したり、ニット帽、各国語の書籍・新聞、その他プレゼントグッズを集めてマリナーズセンターに持ち寄る等の活動を行っている。

船員司牧も昔は欧米系の船員さんたちが上陸してセンターに集い、バーやビリヤードで憩うというスタイルだったが、最近ではアジア系(フィリピン、インドネシア等)の方が多く、コンテナ等による荷役の効率化で停泊時間も短くなり、上陸する船員さんも激減している。その分こちらから訪船して母国語の印刷物やニット帽などを届けると喜んでくださる。

昨今のコロナ過により上下船も難しくなり訪船活動も困難になっているが、交代要員も確保できず船員達を取り巻く環境は悪化している。長い航海の後、神戸に来られた方々にしばしの憩いを提供するのは港町こうべの使命と感じ、これからもこの活動を継続し広げていきたいと願っている。

* バチカンは 9 月 28 日、今年創立 100 周年を迎えた船員司牧 (AOS) の正式名称を「ステラ・マリス」(海の星)に変更した。

神戸マリナーズセンターへのご支援とご協力をお願い

私たちの活動や趣旨に賛同して下さる皆様からのご連絡をお待ちしております。

1. 雑誌・新聞・書籍の回収 長期にわたって母国から離れて船上で働く船員の人々のために、当センターでは外国語(英語・タガログ語・中国語・ロシア語及びその他の言語)の書籍・雑誌等を回収しています。不要な外国語書籍・雑誌をお持ちの方はお知らせください。
 2. 非常時の通訳ボランティアの募集
 3. 訪船ボランティアの募集 [65 歳以下で既往症のない方]
 4. 毛糸帽の製作
- (☎078-331-1696)



センターでくつろぐ船員たち



贈られたニット帽を手にする船員たち



船内で語らう船員たちと訪船スタッフ



船を訪れたシスターたちと船員

★写真と「ご支援・ご協力をお願い」は神戸マリナーズセンターHP <http://www.flyingangelkobe.org/index.html> より

教えてください～！！第八弾！

「エコロジカルな回心」とは？



不平等をさらに広げるコロナ禍

国連のグテーレス事務総長は、コロナ禍が貧困層や高齢者、障がい者、持病がある人々をはじめ、社会的に最も弱い人々に最も大きな影響を与えていると述べ、なかでも女性・女兒をコロナ禍対応の中心に据えるよう、各国政府に要請しました。



- * 世界の貧しい地域では女兒が家事を担い学校に戻れなくなることが憂慮されています。
- * 日本でも学校の休校や介護施設の閉所が続き、テレワークの仕事に加え家事や育児、介護の負担が女性により多くのしかかりました。
- * 国連は、家庭内で暴力にさらされている女性についても、緊急の措置が必要であると各国政府に呼び掛けています。

* コロナ禍はサービス業を中心に非正規労働の女性たちが多く支える産業に大きな打撃を与えました。日本でも、5月の労働力調査によると、正社員は前年同月に比べて1万減だったのに対し、非正規労働者は約61万人減。その約8割が女性でした*。

* 朝日新聞7月14日の記事より



女の子というだけで、学校に行かせてもらえないなんて・・・。



娘をこんな目にあわせたくない。でも、家や子どものこともっとやりたいと思ってても今の職場の環境では難しいのも事実なんだ。男もしんどいし、誰にとってもいい社会じゃない。もう、変えなきゃいけないと強く思う。



国連は、①新型コロナウイルスに関するすべての意思決定の場における女性の参画、②女性に偏るケアワークへの対応、③新型コロナウイルスの社会経済的影響に対処するすべての取り組みへのジェンダーの視点の適用が必要だとしています。

パンデミック危機は「選択の時」「回心」と変容の機会

教皇フランシスコは、第75回国連総会ハイレベルウィークに、次のようなビデオメッセージを送られました。

- ・今は何が重要で何がそうでないのかを選ぶ「選択の時」で、この危機を、資源の不当な分配によって貧富の差を広げている、わたしたちの生活スタイルや経済・社会構造を再考するための回心、変容の機会である。
- ・環境危機と社会危機は密接な関係にあり、環境保護とは貧困や締め出しと闘うための総合的なアプローチを要するものである。
- ・パンデミック危機の中で、多くの子どもたちが学校に戻れないでいる一方で、児童労働や虐待、栄養失調が増える危険がある。
- ・社会のあらゆるレベルで女性の活躍が見られるようになった反面、女性たちがいまだ隷属や、人身取引、暴力、搾取の犠牲となっている。

そして、この危機の時、私たちのなすべきことは「わたしたちの共通の家と共通の計画について再考すること」であると述べられました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



コロナ禍は以前から存在していた不平等をより際立たせたとされています。環境問題と不平等の深いかわりかは SDGs（持続可能な開発目標）でも指摘され、解決すべき課題となっています。

誰がより苦しい思いをしているのかを感じる「目」が必要な時です。



みなさんがご存じのことを教えてください

たとえばこんなこと

1. 環境のためにしていること、昔から言い伝えられている知恵

2. 便利そうで買ってはみたけれど、結局使わなくてむだになったもの

☆お名前またはニックネーム _____

☆連絡先（メールアドレスや電話番号など）

☆投稿方法 FAX : 06-6920-2203 / メール : sinapis@osaka.catholic.jp

QR コード *

* QR コードの読み込みには、スマートフォンなどで QR コードリーダーをダウンロード
することが必要です。

☆締め切り 2020 年 11 月 20 日（金）まで





みんなの けいじばん



秋晴れで気持ちのいい風が吹くようになりました。コロナ対策をしながらも日常が戻り、教会学校を再開した小教区もあります。堺教会の教会学校では、9月の「すべてのいのちを守る月間」に合わせ、地球でともに暮らすいのちを確認し、みんなが大切にされているかを考えました。

すべてのいのちは守られているのかな？



「みんなのうち ちきゅう」



完成！



「生きているもの」を書いてみよう！
うさぎ！ 草！ お花！
かめ！ ねこ！
いぬ！ おっちゃん

…おっちゃん！？



地球を描いた紙に貼っていきました。

宿題

「みんなのうち」の地球が今どうなっているのか、おうちの人とお話してみてね。

戦火にさらされたり、過酷な労働についている子どもたち、海が汚され苦しむ動物たちの写真を見ながら分かちあい、最後に自分の顔を書いて貼りました。どれもみな大切ないのちです。

「キリスト者死刑廃止ネットワーク」がはじまりました

キリスト者のあいだで、死刑制度に関連した情報を共有するためのネットワークがはじまりました。キリスト教信仰に連なる方で、死刑制度について学びを深めたい方はどなたでも加入できます。メーリングリストを基本としたネットワークで会費はいりません。登録はウェブサイトからまたはメールで申し込むことができます。

<ウェブサイト>

<https://sites.google.com/view/christian-abolition-cap-pun/>

<メール・お問い合わせ> : coro01mie@gmail.com

<世話人>

柳川朋毅（日本カトリック正義と平和協議会「死刑廃止を求める部会」、イエズス会社会司牧センター）

浅野献一（日本キリスト教団京都地区「教会と社会」特設委員会「死刑廃止を求める小委員会」、日本キリスト教団室町教会牧師）

シナピスも参加しています。



クリスマスグッズ制作の材料の提供・お手伝いの募集

・難民移住者が寄付のお礼にクリスマスグッズを作っています。材料となるリボン（幅1cm～2cm程度、赤・緑）、布、毛糸、ミシン糸、刺しゅう糸など、もし家に眠っているものがあればお譲りください。

・グッズ制作を一緒にして下さるボランティアも募集しています。

制作日：平日 10 時頃から 17 時頃まで

* お越しになる時は事前にご連絡ください。

☎06-6942-1784 / ✉ : sinapis@osaka.catholic.jp

食糧支援のお願い

コロナ禍で解雇された技能実習生、帰国できずに困っている留学生、観光客などの相談が増えています。パスタ、パスタソース、インスタントラーメン、インスタントスープ、米、缶詰、賞味期限の長いパンなど、日持ちのする食べ物のご支援をお願いします。



☎06-6942-1784 / ✉ : sinapis@osaka.catholic.jp

掲示板には、FAXかメール、右のQRコードからご投稿ください。QRコードの読み込みにはスマートフォンなどでQRコードリーダーのダウンロードが必要です。

☆投稿 FAX : 06-6920-2203 メール : sinapis@osaka.catholic.jp

☆締め切り : 2020年11月20日（金）まで



大阪高等裁判所 ネリさん親子の在留資格をまたも認めず

10月29日、大阪高等裁判所にてネリさんと子どもたちの在留資格を求める裁判の判決が言い渡されました。この裁判は、母親のネリさんと、在留資格のない両親から生まれた子どもたち2人に出された強制退去命令裁判決（2015年最高裁）の撤回と在留特別許可を求めて提訴し、昨年秋に敗訴した裁判の控訴審です。



結果は訴えをすべて棄却、すなわち、ネリさんにも、日本生まれの子どもたちにも、引き続き在留資格を与えることはできないということでした。今回の争点は、国際条約で定められている「児童の権利」をはじめとする人権が、在留資格のない外国人にも認められるのか、それとも今まで国がしてきたとおり、外国人の人権は国の在留制度の枠内（在留資格の有無）でのみ保障されるとするのかという点でした。前者であれば、少なくとも子どもたちには在留資格が出るはずでした。ところが、判決は後者によるものでした。しかし、人権は、そもそも人として生まれてきた以上、国籍や身分がどうであれ誰もが持っているはずのものです。特に子どもにかんしては、どのような家庭で生まれても、安心できる環境で健やかに育つ権利を保障しなければならないというのは、社会の責任として日本でも合意を得ている事柄です。

ネリさんの子どもたちは今、高校生、大学生になりました。両親は日本で暮らすのだからと、あえてスペイン語ではなく日本語で接したため、日本語しかできません。子どもたちは、勉強して日本社会に貢献したいという強い希望を持ち、在留資格がないことで時には夢を打ち砕かれながらも、真っすぐに育ってきました。今回の判決は、生まれ育った日本で将来を描きたい、描かせてあげたいと必死で訴え続ける親子を、問答無用、国へ帰れと一刀両断し、5年前にペルーに帰らなかったことでネリさん親子が「(帰って) ペルーの言葉や文化に対応する機会を放棄した」とまで言いました。子どもの権利を無視して個々の事情を全く見ようともしないこの言い分を受け入れることはできません。裁判の日に学校があったネリさんの子どもは、電話でシナピススタッフから判決の詳しい内容を聞き、「(この苦しい状況は) 自業自得、ということですね・・・」とつぶやきました。私たちはこの子に、「違う、間違っているのはあなたじゃない。堂々としてほしい。あなたにここにいてほしい」と声を大にして伝えたいと思います。

ネリさん親子は今回の判決を受け、最高裁に訴えることを決めました。裁判の行方を、同じような境遇の多くの親子が息をつめて見守っています。生まれながらに、存在することも、当たり前将来を夢見することも許されない子どもなど作ってはなりません。引き続きネリさん親子への応援をお願いします。



「生身の人間が苦しんでいるのを法律がどのように救うことができるのか、真正面から受け止めてほしい」(空野弁護士)

今回も、14,5名の支援者が駆け付け、裁判の行方を見守りました。判決後の弁護団による説明の際には、「署名を集めたい」という声も出ました。



記者会見でネリさんは、「言葉が出てこない」と声を詰まらせました。韓弁護士は、「子どもたちは日本で一日一日を過ごし、将来を夢見て過ごしてきた。積み上げてきた日々を評価しない判決だ、良心はあるのか」と訴えました。

沖縄修学旅行激減

少子化や海外修学旅行の増加により、沖縄修学旅行はここ数年減少傾向でしたが、コロナ禍により4月から9月の予約はすべてキャンセルとなりました。休校の影響を補うため修学旅行を授業に振替えたり、目的地を近くに変える学校も多くなっています。県では沖縄相談センターや問合せ窓口を設置して安心・安全な修学旅行をアピール、修学旅行生確保の努力を続けています。

平和学習ピンチ

「県観光ボランティアガイド友の会」は、年間16万人の修学旅行生の平和学習を担ってきました。しかし今年は9月までで34人。会の存続問題はもとより、沖縄戦と沖縄の現在を学ぶ機会が失われると危機感を抱いています。

そんな中、テレビ朝日が「バーチャル修学旅行で歴史を学ぼう」を実施。講師の一人は「沖縄とわたしたち」第一回に登場したタレントのりゅうちえるさん、世界一危険といわれる普天間飛行場を抱える宜野湾市出身です。



おばあ（おばあちゃん）の話
小学生の時、沖縄戦の話を書く宿題が出た。おばあに「聞いてもいい？」と言うと「まだそんな宿題があるの？」と、話したくなさそうだった。おばあは避難中に家族とはぐれ一人で歩いていると、みんなで死のうとしている人たちに会い「あんたも入り」と言われ、怖くて逃げた。死体が沢山転がっていても、誰も声をかけなかった。捕虜になったら殺されると教えられたけど捕虜になって助かった。



りゅうちえるさんは語る

東京では誰も
6月23日（沖縄慰霊の日）
のことを知らない。沖縄ではこの日は
休校、12時に空襲警報のサイレンが
鳴り、みんなで黙とうし平和を祈る。
同じ日本なのにと、意識の差に
ショック！

平和は当たり前じゃない。
自分たちは実体験をぎりぎり聞ける世代。
忘れたことを勇気を振り絞って必死で
語ってくれた思いを次の世代に受け継いで
いかないと。SNSなど自分のやり方で。
そして思いやりを持ってコミュニケー
ションをとることが大事。

おばあの話に、知ってる地名
（宜野湾や万座毛）が出てくると、あんなに
歩いたの？あそこに隠れて！？と聞いているだけで
苦しくなった。おばあは初めて見る辛そうな表情で
話してくれた。おばあの話は最初で最後、二度と
聞いてはいけないと思った。
戦争は人を人じゃなくする。

ファンやったんか…



やっぱり
りゅうちえるは
ええわあ…



写真は2020年10月20日朝日新聞より

歴史に触れよう！

「ヌチドゥタカラの家」

1952年、サンフランシスコ平和条約が発効、米軍はそれまで軍事占領していた土地を「合法的」に使用するため、一坪が「コーラ1本分にもならない」安さで土地を借り上げようとしました。島の60パーセント以上が軍用地となっていた伊江島では、米軍が射撃場建設を進めブルドーザーで農民の家を引き倒したり、放火したり、発砲して農民を追い払い重傷を負わせました。中には撃ち殺されたり、食物がなく餓死した人もいます。「土地を失っては農民は生きていけない」と抵抗運動の先頭に立ったのは阿波根昌鴻です。阿波根をはじめ農民たちは7か月かけて沖縄本島を歩いて米軍の横暴を訴え、この動きは祖国復帰運動へと発展していきます。

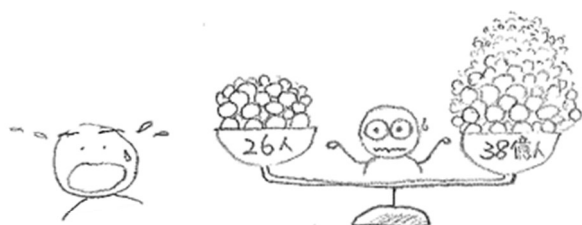
沖縄返還後も阿波根は「武力によって平和は生まれない」との信念のもと、反戦地主として土地返還に取り組み、戦争を知らない世代の中から平和を創り出す人が増えてほしいと願い、沖縄戦を記録する資料を集めた「ヌチドゥタカラ（命こそ宝）の家」を建て、102歳で亡くなるまで反戦平和を訴え続けました。

憲法が変わったらどうなるの？ 第24弾

持続不能な経済構造

排他的経済構造って聞いただけで、難しそうだねえ。

ある国際 NGO が言ってたんやけど。



えーっつ!

世界人口のうち資産が下位半分の
約 38 億人の資産合計は、
トップに占める富裕層の
たった 26 人の資産合計と同じなんだって。



国連は、この格差をなくすために 2000 年に「ミレニアム開発目標 (MDGs)」を設定。
「極度の貧困と飢餓の撲滅」を目標に掲げ、2015 年にはそれを達成したという。
でもそれは、中国やインドなど人口の多い国が経済的に急成長したからなんだって。
地球全体を見渡した時に、貧しい国々は、目標を達成するにはほど遠い状況よ。
本紙の「『エコロジカルな回心』とは?」でも取り上げている「地球上の誰一人として取り残さない」
を目標に



どうしたらいいの???話が大きすぎてよくわからないよ!



そうね、自分の生活を振り返り、自分の家の中を見回すと、もので溢れているなあをつくづく思う。
「100 円ショップ」は安くて便利でいいけど、「百均やかからまあいいか」と罪悪感を持たず、
捨てることを正当化してるかもしれない。
それとか、「捨てる」ことは気がひけるのでリサイクルという言葉で、いかにも環境保護に配慮し、
貢献しているかのように自分をごまかしてね。リサイクル業界は持ち込まれる商品で溢れかえり、
悲鳴を上げているって。

Doiso
Saria



そうやなあ、この 100 円のものをつくるためにどのような人が携わっているのか、
どんな労働条件でどのような場所でつくっているのかなんてことも、考えたことがなかった。
ものだけを見て、人を見ていなかったよ。

大量生産、大量消費、大量廃棄を繰り返す経済を作り出してきたわたしたち。
一人ひとりの中にある、ものを持てば幸せになるかもと勘違いしてしまう
頭の構造が、このような排他的な経済構造をつくりあげて
いるんじゃないか。いのちより、人より、「物」を獲得す
るために、競争する世界にどっぷりと浸かり、
「幸せ」のためにいったい何を求めているんだろう。



そうじゃなあ。わしも自分の生き方を見直さなければならんな。

日本国憲法第 13 条では「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利」を保障している。
とあるがな……。

……自分の幸せと人の幸せ……。

教皇フランシスコ訪日講話集
すべてのいのちを守るため
私たちに向けられたメッセージの数々

四六版並製 128頁+カラー16頁 定価(本体 1100円+税)
教皇来日から来月で1年。いただいた
メッセージをいまいちど味わいませんか。

シナピスにお申込みいただくと
シナピス限定教皇メダリストラップ
をプレゼント。
数に限りがあります。お早めに！



社会福音化部主催 黙想会 指導:松浦謙神父
日時:11月22日(土)~23日(日)
場所:売布の黙想の家 定員:12名
定員満了間近です。お申し込みはお早めに！

活動へのご支援ご協力をおねがいします

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。
難民移住移動者支援もよろしくお願いいたします。

食料品提供のお願い

例) お米、調味料、缶詰など保存のきくもの

お電話をお待ちしています!!
☎06-6942-1784

◆ HP はただいまリニューアル作業中です。
再開まで今しばらくお待ちください。

あとがき

大阪都構想住民投票の日、仕事帰りに投票所に向かう娘の後ろからきた2人の若者が、追い越し際に「反対にいます。なんなんあの市長たち、わたしらぐちゃぐちゃにして、4分割で。うちのじいちゃんのこと絶対見えてへんで。年寄り大変やでほんまになあ」と大きな声でしゃべりながら投票所に入ってしまったそう。娘は大いに共感。「うちのじいちゃんのこと見えてへん。」に込められた若者の思い。見えてへん、見えなくされている人たちは、障がい者、高齢者、移住を余儀なくされた人、コロナ禍の中で職を失った人。様々な悩みを抱えている人…。その人たちを置き去りにする政治姿勢は、イエスの目線ではない。教皇フランシスコは「貧しい人に援助の手を差し伸べよ」

▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

◆広報活動

- ・教皇メッセージ、司教団メッセージ等
社会活動の指針の伝達
- ・読者と教会内外の社会活動をつなぐ
機関誌としてシナピスニュースを発行

◆大阪教区・社会活動委員会との連携

◆学習会研修会の企画

◆こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

◆カトリック中央協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、
カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

◆難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22
カトリック大阪大司教区事務局内



公共交通機関ご利用の場合

- JR 森ノ宮駅より 約1000m
- 地下鉄中央線森ノ宮2番出口より 約800m
- JR 玉造駅より 約1000m
- 地下鉄鶴見緑地線玉造1番出口より 約800m

車でお越しの場合

阪神高速13号東大阪線法円坂出口
法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがいします

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス



忘れない＊あきらめないカレンダー

どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。



2020年 11月 の 案 内

★印 カトリック関係

2020年 祈祷の信徒 祈りの意向 11月

世界共通の意向：人工知能

ロボット工学と人工知能の進歩が常に人類に奉仕するものでありますように

日本の教会の意向：教皇訪日一周年にあたって

わたしたちが傷つけてしまった地球と、この世界で見捨てられ、忘れ去られた人々の叫びに気づき、神の愛の道具として、すべてのいのちを守るための役割を果たすことができますように

新型コロナウイルス感染症の影響で中止される場合があります。事前に各主催者へお問い合わせください。

1	日	
2	月	ジャーナリストへの犯罪不処罰をなくす国際デー
3	火	●輝け憲法!平和といのちと人権を! おおさか総がかり集会 ■場所:大阪市立阿倍野区民センター大ホール 14時開会 野党各政党からの挨拶 ネットで繋ぐ市民アピール 韓国、沖縄からも ネット視聴可 終了後 15時40分～16時20分 街頭スタンディング 主催:おおさか総がかり行動実行委員会 連絡先:大阪憲法会議・共同センターTEL06-6352-2923 戦争をさせない1000人委員会・大阪TEL06-6351-0793 市内させない戦争協力関西ネットワークTEL06-6364-0123 ●みんなで歩こう! 市民パレードINとよなか ■場所:豊中市役所 11:00パレード出発(国道176号線)→阪急 豊中まで 主催:市民パレードINとよなか実行委員会 連絡先mail:toyonaka9jo@yahoo.co.jp fax06-6849-0251
4	水	
5	木	世界津波の日
6	金	戦争と武力紛争による環境搾取防止のための国際デー ●講演会「スーパーシティ構想とは何か?ー住民投票後の大阪を考えるー」 ■場所:エルおおさか南館5Fホール 18時開場 18時半開会 講師:中山 徹さん(奈良女子大学教授) 資料代:800円(割引あり 要相談) 主催:戦争あかん!ロックアクション
7	土	●「日の丸・君が代」強制反対大阪ネット 総会&学習会 ■場所:エルおおさか709 13時半開場 14時総会 14時45分学習会 学習会「政界と財界が描くGIGAスクール構想とICT戦略」 入場無料 主催:「日の丸・君が代」強制反対・不起立処分を撤回させる大阪ネットワーク fax06-6942-2444 mai:hinokimiosk@yahoo.co.jp HP: http://www.7b.biglobe.jp/~hotline-osaka/
8	日	●「立皇嗣の礼」弾劾集会・デモ 午前10時半集合・11時デモ出発 場所:中之島公園の京阪電車「なにわ橋」駅西口前公園 主催:天皇代替わりを問う集会実行委員会 ●講演会「ポストコロナを切り拓く政治へ」 ■場所:川西市商工会館4階多目的ホール 14時 講師:浜矩子さん(同志社大学大学院教授)ビデオメッセージ 石川康宏さん(神戸女学院大学教授)対面講演 資料代:1,000円 事前予約制 定員120名 主催:安倍9条改憲NO!全国市民アクション川西実行委員会
9	月	●映像で現代を語る会 ■場所:大阪市北区民センター 18時～20時半 「プライバシーか感染拡大か～韓国・最前線の闘い」「盾もすいかも守れない～上陸できなかったイージス」 「島の宝の島 軍事基地は誰のため(無人島馬毛島)」 会場費:300円 主催:映像で現代を語る会 問合せTEL090-5151-9763
10	火	平和と開発のための世界科学デー
11		
12	木	
13	金	●日韓民衆の力で東アジアに平和を! 11・13大阪集会 ■場所:エルおおさか南館1023号室 18時受付 18時半～ 発題者:藤本泰成さん(平和フォーラム共同代表) 韓忠穆(ハン・チュンモク)さん(韓国進歩連帯常任代表)リモート実況中継 資料代:1000円 主催:日韓平和連帯
14	土	世界糖尿病デー ●2020年 グループZAZA・連続講座 ■場所:エル大阪・709号室 13時半開場 14時～ 講演:「沖縄戦を伝えるために」 講師:平井美津子さん(大阪府公立中学校教諭 大阪大学・立命館大学非常勤講師) 主催:グループZAZA 連絡先TEL090-6067-0560 ●「とめよう改憲!おおさかネットワーク」第13回年次総会&公開講演会 ■場所:国労会館大阪 13時半開場 14時開会 総会 講演:「敵基地攻撃能力とは何か!?!」 講師:額田 厚さん(明治学院大学客員教授) 資料代:800円 ※学生半額・介助者無料 主催:とめよう改憲!おおさかネットワーク 中北法律事務所 TEL06-6364-0123 市民共同オフィスSORA TEL06-7777-4935 ●「憲法9条の会・関西」総会&講演会「菅政権の本性は?」 ■場所:摂津市いきいきプラザ3階大会議室 14時総会 14時半講演会 講師:片岡伸行さん(「週刊金曜日」契約記者) 資料代:800円(学生500円) 主催:憲法9条の会・関西 TEL072-638-4745 mail:kenpo9kansai@gmail.com https://9jo-kansai.jimdofree.com
15	日	●反戦・反改憲集会&デモ ■場所:豊崎西公園 15時集会 16時10分デモ出発 主催:11・15反戦・反改憲実行委員会 TEL06-6304-8431
16	月	国際寛容デー

		交通事故の犠牲者を追悼する世界デー
17	火	●講演「戦争の持つもう一つの暴力『復讐日本兵の心的外傷後ストレス障害』＝PTSDを考える」 ■場所:神戸学生青年センター 18時半 講師:黒井秋夫さん(PTSDの復讐日本兵と暮らした家族が語り合う会代表) 参加費:700円 主催:実行委員会 連絡先:神戸学生青年センター Tel:078-851-2760
18	水	
19	木	世界トイレデー
20	金	アフリカ工業化の日 世界子どもの日
21	土	世界テレビ・デー 世界哲学デー ★学習会「封印された殉教『国家による宗教弾圧』と『宗教団体の戦争協力』を考える」 ■場所:サクラファミリア聖堂 13時～15時 発題者:野村英隆さん(信徒の会・阿倍野教会) 主催:カトリック大阪教区・部落差別と人権を考える「信徒の会」 連絡先Tel:06-6939-9771 ●第9回さようなら原発1000人委員会 10年たっても終わらない 福島原発事故 午後2時開演(1時30分開場) いたみホール せやろがいおじさん と 末田センセ 当日/1,000円 前売/800円 障がい者・避難者/半額 介助者・35歳以下/無料 手話通訳あります。 主催:第9回さようなら原発1000人委員会実行委員会 ●オンライン講演と討論「コロナ禍が問う学校とは? 教育とは? ～子どもたちの学びと幸せのために～」 ■講師:鈴木大裕さん(教育研究者、高知県土佐町議) 参加方法:オンライン参加(事前申し込み要 先着200名) URL(http://ptix.at/XFKqDZ) 14時～16時 スクリーン会場:港区民センター 13時半受付 14時～16時 参加費500円 主催:子どものしあわせと学びを考える会 問合せTel:090-6918-1172(井前) mail:imae@shore.ocn.ne.jp ●集会「朝鮮半島の非核・平和・統一の実現を! 日朝国交正常化の早期実現と在日朝鮮人の人権保障を!」 ■場所:大阪市立東成区民センター大ホール 13時～16時半 特別報告:丹羽雅雄さん(大阪無償化・補助金弁護団 団長) 記念講演:李柄輝さん(朝鮮大学校・朝鮮問題研究センター教授) 森類臣さん(立命館大学客員准教授) 参加費1,000円 主催:朝鮮統一支持運動 第38回全国《大阪》集会実行委員会 事務局Tel:06-6583-5549 fax:06-6582-6547 ●「10年たっても終わらない 福島原発事故 せやろがいおじさん と 末田センセ」 ■場所:いたみホール 13時半開場 14時開演 チケット代当日1000円 前売800円 障がい者・避難者半額 介助者・35歳以下無料 手話通訳有 主催:第9回さようなら原発1000人委員会実行委員会 Tel:079-764-7209 ✉akihito7178@yahoo.co.jp
22	日	
23	月	●超危険 老朽原発動かすな!リレーデモでつなごう ■場所:13時 関電包囲大集会 リレーデモ出発 梅田まで 主催:老朽原発動かすな!実行委員会 連絡先Tel:090-1965-7102(木原杜林)
24	火	
25	水	女性に対する暴力撤廃の国際デー ●「あなたの知らないゴミの世界～徳島県上勝町の挑戦～」 ■場所:神戸学生青年センターホール 10時半～12時 講師:藤井園苗さん(上勝町ゼロ・ウェイスト推進員) 参加費600円 託児有(無料) 主催:(公財)神戸学生青年センター Tel:078-851-2760 fax:078-821-5878 HP: https://ksyc.jp mail:info@ksyc.jp
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	パレスチナ人民連帯国際デー
30	月	化学兵器による全ての犠牲者を追悼する日
1	火	世界エイズ・デー
2	水	奴隷制度廃止国際デー
3	木	国際障害者デー
4	金	
5	土	経済・社会開発のための国際ボランティア・デー 世界土壌デー [FAO] ●「南京軍事法廷と東京裁判」 ■場所:エルおおさか・南館5Fホール 13時15分開場 13時45分開演 内容:ドキュメンタリー映画『東京裁判と南京ー大きな溝を乗り越える』上映 講演とトーク『中国国民政府の戦犯追及と南京裁判』 講師:伊香俊哉さん(都留文科大学教授) 資料代:1000円(学生500円) 先着110名 主催:南京の記憶をつなぐ2020 Tel:090-8125-1757

